

一般市民による救命活動の課題点の分析

阪本凌也 ○村田忠彦 (関西大学)

Analysis of Issues in Rescue Activities by General Citizens

R. Sakamoto and * T. Murata (Kansai University)

概要— 本研究では、アンケート調査により回答者の属性や知識量に関する情報を抽出し、一般市民による救命活動の課題点を分析する。道端で倒れている心停止傷病者が一般市民により発見され、通報に至るといったケースが多く存在している。しかし、救急車が到着するまでにある程度の時間を要する。一方、傷病者の心臓は停止し血液を送り出せない状況にあるため心停止発生から時間が経つほど生存率は下がってしまう。本研究では、目撃者による救命活動実施が少ない現状を踏まえ、その原因をアンケート調査により探る。

キーワード: 救命活動, 心停止, アンケート調査

1 はじめに

本研究では、一般市民による救命活動に関する課題点をアンケート調査によって分析する。2020年の統計¹⁾では、119番通報から救急車が到着するまで平均で約8.9分待たなければならない。傷病者の心臓が停止してから一切の措置も行わず放置していると1分ごとに約7~10%ずつ救命率が低下するといわれる²⁾。胸骨圧迫や、AED(自動体外式除細動器)の使用を迅速に行うことで救命率の低下を抑えることができ、1ヶ月後の生存率を大きく上げることができる。2020年には、一般市民に目撃された心停止傷病者数は25,790人であるが、そのうちAEDが使用された事例は1,091人に留まっている。AED使用の有無が1ヶ月後生存率に大きな差を与えるため、本研究ではアンケート調査によって、AEDの使用率が低い要因を考察する。

2 調査方法と分析

本研究では、Google Formsを用いてアンケートを作成し、2022年10月、関西大学の学生や医療関係者を含めた知人を対象に、オンライン形式のアンケート調査を実施した。全236件の回答をもとに2つの設問を組合せたクロス集計表を作成し、AEDの実施課題を考察する。

Table 1の各行に医療関係者以外(155人)の救命講習受講時期を、各列に自信をもって行える救命活動を示す。救命活動のうち、「心臓」は胸骨圧迫(心臓マッサージ)、「人工」は人工呼吸、AED(取・使)はそれぞれAEDを取得する、使用する、を表している。救命講習の受講時期に関係なく行動に移せるという傾向にあったのが「通報」、「呼びかけ」、「AEDを取得する」であった。これらは患者に直接触れない項目であった。逆に、「心臓」、「人工」、「AED(使)」は救命講習の受講時期が最近であるほど「自信あり」と回答する割合が高いものの、患者に直接触れない項目よりは低い傾向にあった。AEDを取りにいけるという回答者が多さに対し、実際には救命活動が行われたほとんどの事例でAEDが使われていないということから行動の妨げになっている要因を分析する。

Table 2にAEDに関する知識として、AEDの場所と使い方を知っているかどうかを尋ねた結果とAEDの取得または使用ができると答えた回答者との関係を示す。Table 2からAEDの場所は知っているが使い方を知らないと答えた回答者がAEDを使用できると回答した割合が極端に低いことがわかる。

3 おわりに

AEDを持ち運ぼうとは思いますが場所がわからないため行動に移せない、持ち運べたとしても使い方がわからないため実行に移せないという課題が今回のアンケート調査からわかった。設置場所の認知度を高めるためAEDマップの開発や目立つ場所に設置するなどの取り組みがなされているが、引き続き、AEDの設置場所について、印象に残りやすくなる条件や方法を考察する必要があることがわかる。

参考文献

- 1) 総務省消防庁: 令和3年版:救急救助の現況, 2022年12月閲覧
- 2) American Heart Association, Part4: Adult Basic Life Support: American Heart Association Guidelines for Cardiopulmonary Resuscitation And Emergency Cardiovascular Care, Circulation, 112-24_supplement, IV-19-IV-34(2005)

Table 1: 救命講習時期Q4と実行可能な救命活動Q8の関係

自信/時期(%)	実行可能な救命活動					
	通報	呼びかけ	心臓	人工	AED(取)	AED(使)
1年以内(47)	45(95.7)	33(70.2)	15(31.9)	4(8.5)	29(61.7)	16(34)
2~3年以内(41)	41(100.0)	32(78.0)	12(29.3)	0(0.0)	27(65.9)	12(29.3)
4~5年以内(26)	24(92.3)	20(76.9)	7(26.9)	4(15.4)	16(61.5)	7(26.9)
6年以上前(16)	15(93.8)	14(87.5)	0(0.0)	0(0.0)	8(50.0)	2(12.5)
未受講(25)	22(88.0)	18(72.0)	3(12.0)	1(4.0)	15(60.0)	3(12.0)

Table 2: AEDに関する知識Q9と実行可能な救命活動Q8の関係

知識/自信(%)	実行可能な救命活動	
	AED(取)	AED(使)
場所と使い方(50)	39(78.0)	23(46.0)
使い方(103)	66(64.1)	40(38.8)
場所(49)	33(67.3)	3(6.1)
×(34)	12(35.3)	2(5.9)